第 2017-44 号

恵みと真理のニュース

2017 年 10 月の五次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]　失敗を通して謙遜な者にしてくださって、警察官になって国家と国民の為献身するように導いてくださった神様の恵みと愛に感謝します

私は子供の時から信実な親をついて教会に通いました。教会に来て熱心に礼拝を捧げ児童部の頃から聖歌隊で奉仕しました。しかし、主日になると当然、すべきことのように 形式的な信仰生活をしました。中学生になって思春期の頃、行動が正しくない友達と付き合って礼拝と奉仕を疎かにして親に心配かけました。
そうするうちに卒業を控えて3年生の冬休みにの時に母の強く勧められて修練会で参席して神様の恵みを体験して私の生活が変わりました。様々な清い訓練を通して生きておられる神様を確信して私を救ってくださった神様を確実に信じるようになりました。再び教会に戻って以前よりもっと熱心に神様に礼拝を捧げ心を尽くして主を仕え奉仕する生活をしました。
しかし、教会の高等部で聖歌隊の総務のような尊い職分を受けて奉仕して、また学校でクラースリーだーで成績もいつも中上位権を維持したので自分も知らずに神様の恵みを忘れて高慢になりました。もう何かなったように勘違いをして私より成績が悪い友達を心の中では無視しながら過ごしました。大学入試を受ける時に自慢して基準を高くして大学に志願してその結果、苦く失敗の味をみました。
初めは神様にだだこねるのも多して恨みました。結局大学浪人をして再浪人をするようになりました。幸いに祈りを休まずに日々大変な時間を神様に祈ってまた、御言葉でなぐさめられ新しい力を得って乗り越えることが出来ました。そして、その過程で私の考えと態度が人と神様の苗で温柔と謙遜になりました。" 痛手に先立つのは驕り。つまずきに先立つのは高慢な霊。" （箴言16：18）と話した御言葉の意味を深く悟りました。そのように神様を私を低くした後、京畿道にある国立大学に入るようにしてくださいました。 神様の恵みに感謝して学校を通う時、誰よりも遅く進学したせいで進路に悩みがありました。そして、一様軍服務から終えると思いました。自分の考えでは2年の1学期が終わってからすぐ軍隊入隊をする計画しました。24歳比較的に遅い歳に軍服務を始めるのが恐れて心配になって社会と大きく離れてない義務警察に志願しました。当時、機動警察は先輩と後輩の関係の中で軍規が厳しいと聞いたので心配しました。そうして、入隊を控えて教会の全ての礼拝と祈り会に参席して"神様が共にしてくださるのを願いながら切に祈りました。周りの人々にも祈りを頼みました。そうしたら祈った通りになりました。神様の恵みで良い先輩達に出会っておおきい問題なく生活をすることが出来ました。それだけでなく入隊する頃、軍部隊で運転をする職していた先輩が除隊をして私がその所に入って勤務して仕事と後には個人的に勉強もする環境を神様が与えてくださいました。服務しながら除隊後の進路に悩んで祈る中で警察公務員に挑戦すると決心しました。除隊した後、本格的に受験生活を始めました。どころが、まるで前が見えなくて暗いトンネルの中を通すように数度失敗を経験しました。1次試験の筆記試験に落ちて、筆記試験に合格して警察公務員になったように考えたが、2次体力と面接に不合格もしました。友達は大学卒業をしてから一人、二人就職をして祝福され会社に通っているのに私だけ落伍されているような生活をしながら、肉体的に倒れて精神的に不安になりました。すると、神様に向いて恨んで不平し始めました。その時から主日礼拝で当会長の牧師が出エジプトして荒野を行進したイスラエルの不信仰的な姿を通して教訓する恵みある御言葉をくださいました。イスラエルの民が紅海の前に差し替えると、進退両難の危機に直面した時モーセが伝えた言葉が新たに私の心に感動されました。" モーセは民に答えた。「恐れてはならない。落ち着いて、今日、あなたたちのために行われる主の救いを見なさい。あなたたちは今日、エジプト人を見ているが、もう二度と、永久に彼らを見ることはない。主があなたたちのために戦われる。あなたたちは静かにしていなさい。」（出エジプト14：13, 14）神様の約束と行われた奇跡を忘れて神様を恨むイスラエルの民にモーセが話したのが神様が私におっしゃるように受け取れました。牧師の説教を聴いてから涙を流しながら神様に悔い改めてまた神様に感謝を捧げました。そのように熱心に礼拝に参席して祈るの中で聖霊で満たされ"あなたの小さい手を私の事に使う。とおっしゃる神様の声が聞こえて感謝してまた感謝しました。神様に私の将来を任せて最善を尽くして試験準備をしました。勉強をして試験をするため疎かにした教会学校の幼稚部教師の奉仕にもっと力を使いました。受験生の身分にもかかわらず主日礼拝だけでなく幼稚部の全ての集まりと行事にも熱心に奉仕しました。そうしたら、感謝するように神様は私に知恵と勉強するときに集中力が倍になりました。そうして、筆記、体力、面接にすべて優秀な成績で合額して喜びが溢れました。終わらないようだった受験が終わりました。
長くない信仰生活を振り返ってみると神様がいつも私と共におられて一番良い道で導いてくださるのを悟ります。遅く大学進学によって機動警察軍に献身するようにして下さたのが神様の御旨があると思い期待してクリスチャン警察官のモデルになろうと誠実に働いています。また、様々な忙しい警察官の職務の中でも教会学校と幼稚部の教師で奉仕するのも最善を尽くしています。忍耐の時間が長くなるほど神様が予備して与えてくださる恵みに信仰と期待を持って祈りながら働きます。このような恵みと愛を与えてくださった神様に感謝と賛美を捧げます。そして、今入試を受けて就職活動している教会学校の後輩達に神様の大きい恵みと愛が望むように祈ります。

[信仰コラム]　憤怒を治める秘訣

"怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。"(箴言 16:32)

箴言 16 章 32 節に"怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる" としました。私達の心に損傷を与えて病ませることの中には'憤怒'があります。憤怒の種類と憤怒を治める方法について調べてみましょう。
第一、神様の憤怒があります。
聖書には怒られる神様について記録して置きました。(詩篇 7:11,12)神様は感情を抑制できなくて怒られることがありません。神様の憤怒は絶対的に聖なることであり純潔であります。神様の憤怒は罪悪に対することです。聖書にはイエスキリストが怒られた事実も様々な所に記録しておきました。安息日に病を癒してくださるのを妨げるパリサイ派の人々に、律法を細分化して厳格な規定を加えて人々を律法の奴隷にする律法学者達に憤怒なさいました。弟子達が神様に対する信仰が足りない時と世俗的な考え方を持つ時に怒られて責められました。しかし、どんな場合も乱暴な血気から出た憤怒ではなく哀痛する心情から出たことです。その中で一つの例が聖殿の清潔事件であります。もう一つの例がコラジンとベツサイダに対して責められた事件です。聖三位神様の憤怒は人間の憤怒とは区別された聖なる憤怒であります。
第二、健全な憤怒と不健全な憤怒があります。
怒るのが全て悪くて禁止されたのではなく信仰による憤怒、健全な憤怒は必要です。しかし、ある性格の憤怒であれその憤怒をよく治めなければなりません。肯定的なエネルギーに転換すべきです。"人間と自動車は内部の爆発によって前に進む。"という話しがあります。罪悪と不義、不正に対する憤怒は健全な憤怒です。このような憤怒が肯定的な方向に作用するよう心を治めるべきです。このために聖霊様の助けを求めなければなりません。
第三、敬虔な憤怒と不敬虔な憤怒があります。
神様に光栄を遮る憤怒は不敬虔な憤怒であり、神様の思いに合う憤怒は敬虔な憤怒であります。敬虔な憤怒と不敬虔な憤怒を対比して知ることができる事件がイスラエルの偉大な領導者モーセの生涯にあった事件記録の中にあります。
コラとダタンとアビラムが会衆の指導者 250 人を扇動してモーセとアロンに対抗しました。彼らの態度をみてモーセがひどく怒りました。自分の名誉と権威が損傷されたからではなく彼らが神様の権威と決定に対抗することだったので憤怒しました。神様は反逆者を直接処罰なさることでモーセの憤怒が正当だということを立証なさいました。イスラエルの民がシンの荒野に着いたが、水がないので彼らが集まってモーセとアロンを誹謗しました。神様がモーセに " 岩に命じて " 水を出させるよう指示なさいました。しかしモーセはイスラエル民の仕業を見て憤怒したので岩に命令せず杖で岩を二回打ちました。神様の光栄と思いは構わず自分の気分によって怒るのは不敬虔な憤怒であります。傲慢と利己的な欲心がその原因です。
第四、不健全で不敬虔な憤怒がもたらす悪い影響と結果について調べてみましょう。
憤怒は憤怒を起こす対象より自分にまず打撃を与えます。アメリカのエルリマゲイスという学者の実験によると " 一人が 1 時間を続いて怒っていると 80 人を殺すことができる毒が出る。 " としました。憤怒するその当事者の肉体に及ぼす悪影響は言うまでもありません。甘い眠りと食欲まで奪ってしまいます。私達の精神に混乱を与えて判断を誤らせます。
最後に、無益で害な憤怒を治めるために私達が適用して実践すべきの要点をいくつか調べてみましょう。
" 私は獣ではなく人間だ。 " という考えをしてください。荒い獣が刺激を受ける時、直ちに反応を見せるが人は理性を持った存在なので感情を抑制することができます。憤怒が自分の健康を害して寿命を短縮させるということを考えてください。怒りを遅くしてください。賛美を歌って憤怒を心から押し出してください。
聖霊様の助けを求めてください。聖霊様は私達の惰弱を助けるために私達の隣におられてくださいます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

救われる信仰

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人は生まれる瞬間から死に向かって毎日一歩ずつ進んでいます。 「生まれて、生きて、死んだ。」これがすべての人の一生をまとめた言葉です。ところで、人が生きて死んだのは存在が消滅してしまうことがありません。肉体は死んでも魂は死なない。このような事実は、聖書に明らかに啓示されています。聖書には、「 そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることとが、人間に定まっているように、」（ ヘブル人への手紙 9:27）と宣言されました。人は必ず死ぬだけでなく、死んだ後は、審判を受けることになります。その審判というのは地獄の刑罰を受けることをいいます。人が全世界をもうけても、魂が救われていない場合は、彼が得た 全世界が、その魂はなんでもすべてが無駄になります。したがって、人に一番急務は魂が救われることです。救いの真理に対して完全な知識を持たなければならない理由がここにあります、

今日の本文に「あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。現在、見てはいないけれども、信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。それは、信仰の結果なるたましいの救を得ているからである。 （ペテロの第一の手紙，1：８，９） ″しました。救われるために、私たちが確実に知っておくべきことを三つの部分に分けて説明します。

第一は、すべての人が罪人になって死に至った理由を知る必要があります。

神が人を創造され、エデンの園に置いて、それ治め守られました。神が人に命令されることを「主なる神はその人に命じて言われた、あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう」。としました。悪賢いサタンが蛇を通してエバに接近して聞くのは 「さて主なる神が造られた野の生き物のうちで、へびが最も狡猾であった。へびは女に言った、「園にあるどの木からも取って食べるなと、ほんとうに神が言われたのですか」。女はへびに言った、「わたしたちは園の木の実を食べることは許されていますが、 ただ園の中央にある木の実については、これを取って食べるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました」。 としました.
すると蛇は女に「へびは女に言った、あなたがたは決して死ぬことはないでしょう。それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです」。と言いました。神のようになるサタンの誘惑に陥ったエバが善悪の知る実を取って食べ、アダムに与えられ、アダムも食べました。そしてアダムとエバは、神の命令に逆らって犯罪者になりました。

ローマ人への手紙，5 章 12 節に記録されたことを「このようなわけで、ひとりの人によって、罪がこの世にはいり、また罪によって死がはいってきたように、こうして、すべての人が罪を犯したので、死が全人類にはいり込んだのである。」としました。
被造物である人は、創造主の神を仕えることが存在理由であり、目的です。ところが、神と対等になろうとし、神の命令に逆らって善悪を知る木の実を取って食べました。その日以来、罪（罪性）を持った人間は、神の中心ではなく、人を中心に、すべてのことを計画して推進して生きて行きます。人は彼が生まれて罪を犯したので罪人になったのではなく、罪人で生まれたから罪を犯しました。そして人本主義で生きて行きます。救われるためには、まず知っておくべきことは、人は神の前に罪人であり、罪人は死と地獄の刑罰を受けることは事実です。

第二は、神が施されるあがないの恵みを知らなければならない。

人が永遠の命を得るために義になる必要があります。義になるのが地獄の刑罰を受けません。義になる必要があり、神を仕えることができ、神を中心に生きるようになります。ヒョウの汚れ柄は洗って除去することができません。このように人は自分がどのような行為でも義となることができません。それで、神様が罪人が義なる道を用意しました。その道がイエス・キリストです。イエスは自ら言う「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」（ ヨハネによる福音書，3:16）しました。神は罪人を救われるために一人っ子を世に送られました。処女の体に聖霊によって生まれて来られたひとり子イエスは、罪人の罪を担当して 十字架で釘付けられて罰を受けて血を流して死んでおられ、三日目によみがえられました
それゆえ誰でもイエス・キリストを信じるなら義されて救われます。これがあがないの恵みです。代わりに罪をあがないしたとして代贖の恵みとも呼ばれます。
ローマ人への手紙，3 章 23 節、24 節に「 すなわち、すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっており、 彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。」と記録されました。イエス・キリストを自分の救い主として信じる者はあがないの恵みで永遠の命を受けます。永遠の命を得て天国に入ります。

第三は、救われる信仰が必要です。

救われる信仰を持てばその信仰に応じて、一致する行ないが従います。ヤコブ 2 章では、行ないのない信仰について二つの例を挙げて説明しました。最初はこうします。 「ある兄弟またはは姉妹が裸でいて、その日の食物にもこと欠いている場合、あなたがたのうち、だれかが、「安らかに行きなさい。暖まって、食べ飽きなさい」との役に立つか。」（ ヤコブの手紙，2：15,16 ）しました。信仰が完全になるには、救済行為が加えなければならないと教える言葉ではない。行ないのない信仰の実がない有名無実という事実を説明しています。次は、このようです。 「あなたは、神はただひとりであると信じているのか。それは結構である。悪霊どもでさえ、信じておののいている。」（ヤコブの手紙 2:19）しました。 悪霊たちも、神の存在を知っているので恐れるが神を仕えはしないです 神の存在を信じるたけの信仰を持っているのは 悪霊が 持っていることと違わない無用の信仰です。

その次は、行ないの信仰についての二人の例を挙げて説明しました。

まず、アブラハムを例にしました。
「わたしたちの父祖アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげた時、行いによって義とされたのではなかったか。あなたが知っているとおり、彼においては、信仰が行いと共に働き、その行いによって信仰が全うされ、」（ ヤコブの手紙，2：21,22）。アブラハムが神の契約を疑わないで信じていたのは、イサクを燔祭のいけにえとしてささげなさいと神の命令の通りに行動したことを証明しました。アブラハムのこれらの行ないは、あなたの子孫と呼ばれる者イサクのゆえであろうこの神の契約の信仰から始まったものです。 彼が燔祭でささげたイサクを神様がどのように復活させるのかは知ることができなくても、そのことは、神の全能に任せて行動しました。

次は、遊女ラハブを例にしました。「同じように、かの遊女ラハブでさえも、使者たちをもてなし、彼らを別な道から送り出した時、行いによって義とされたではないか。 霊魂のないからだが死んだものであると同様に、行いのない信仰も死んだものなのである。」（ヤコブの手紙，2：25,26）ラハブはイスラエル人が仕える神のうわさを聞いて、神を信じるようになりました。ある日、イスラエルの斥候二人がラハブの居酒屋に来ました。ラハブはそれらが取れないように隠してくれた彼らの約束通り行うことで、エリコが崩れるとき、救われました。行ない伴う必要がある場合に行ないなければ、その信仰は死んだ信仰です。
信仰が行いと共に働き、行いに信仰が全うされた」という言葉は、行ないが、信仰を補充する役割をするという意味がありません。信仰があっても、律法を守って行いする前には、不完全な信仰という意味がありません。イエス・キリストを偽りなく信じる人は、その信仰によって、そこに従って同じ行動が当然に続くなります。
救われる信仰を持った人は、すべての人が罪人になった理由を知っている。イエス・キリストの贖いの恵みのみが救われることを知っている。そして、イエス・キリストを自分の救い主として信じて受け入れます。その信仰が真実であればどのような苦難と迫害と誘惑と試験が来ても、信仰の切開を曲げません。礼拝することを楽しんでいます。福音を宣べ伝えており、主の事に励んで良いことに励みます。善と義と真実の側に立って行います。福音を混雑させる言動をしていません。これらの行ないは、信仰によったものです。救われる信仰を持った人は、罪の赦しを受け永遠の命を得て天国に向かって行っているので、生きるのも有益で死ぬことも有益です。

救われる信仰を持った皆さんは、罪の赦しを受けて、永遠の命を得ました。肉のカーテンが崩れる日の魂が天国に行くことです。死は地獄の罰に処する過程ではなく、父の家に行く過程になります。「あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。現在、見てはいないけれども、信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。 それは、信仰の結果なるたましいの救を得ているからである」（ ペテロの第一の手紙，1：8,9）あなたは魂の救いを受けることになる信仰を持ったことで言えない栄光の喜びを享受してください。